

個別研究課題の評価について

1 評価の対象

今回の研究評価委員会分科会の評価の対象となる研究課題は、事後評価として、平成 17 年度末で終了したプロジェクト研究 10 課題、事前評価として、平成 19 年度開始予定の研究課題 8 課題である。

(事後評価)

1. 走行支援道路システム研究開発の総合的な推進
2. 健全な水循環系・流砂系の構築に関する研究
3. 都市地域の社会基盤・施設の防災性能評価・災害軽減技術の開発
4. 水域における化学物質リスクの総合管理に関する研究
5. 地球規模水循環変動に対応する水管理技術に関する研究
6. ゴミゼロ型・資源循環型技術に関する研究
7. 東アジアの航空ネットワークの将来展開に対応した空港整備手法に関する研究
8. かしこい建築・住まいの実現のための建築技術体系に関する研究
9. 社会資本整備における合意形成手法の高度化に関する研究
10. 土壌・地下水汚染が水域に及ぼす影響に関する研究

(事前評価)

11. 国土保全のための総合的な土砂管理手法に関する研究
12. 大規模地震災害時の交通ネットワーク機能の維持と産業界の事業継続計画との関連に関する研究
13. 避難意志決定要因に基づく海岸災害からの避難促進に関する研究
14. 建物の構造安全性能検証法の適用の最適化に関する研究
15. 建物用途規制の性能基準に関する研究
16. ニューパブリックマネジメント手法を活用した都市整備業務支援技術に関する研究
17. 統合高潮、高波対策マネジメントシステムの構築に関する研究
18. 地方空港の類型化及び地方振興を目指した新たな空港利用形態に関する研究

※事前評価の課題名は全て仮称

2 評価の視点と項目

平成 17 年度に終了したプロジェクト研究については、必要性、効率性及び有効性の観点から、以下の項目について、自己点検結果をもとに事後評価を行う。

- 目標の達成度（成果目標に対して、どの程度成果が得られているか。）
- 研究成果と成果の活用方針
- 研究の実施方法、体制の妥当性
- 上記を踏まえた、本研究の妥当性

（科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目標の妥当性等も含める）

平成19年度開始予定の新規課題については、必要性、効率性及び有効性の観点から、以下の項目について、自己点検結果をもとに事前評価を行う。

- 必要性：研究の背景を踏まえた研究の必要性
- 効率性：研究の実施方法、体制の妥当性
- 有効性：研究成果の見込みと成果の活用方針

※プロジェクト研究については、プロジェクト研究としてふさわしいか（技術政策課題の解決に向けた目標設定、分野横断的な研究実施戦略）に留意する。

3 研究評価委員会分科会の開催

専門的視点からの評価を行うため、各分野の専門家で構成された国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会を開催することとする。各会議の評価担当部会、会議に他部会から出席いただく委員は、国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会設置規則に基づき、研究評価委員会委員長により指名する。また、評価担当部会以外の委員等には事前に資料を送付し、意見をいただくこととする。なお、分科会の前に国土技術政策研究所研究評価所内委員会を開催し、評価対象課題について、所として自己点検を行う。

研究評価委員会分科会は、国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会設置規則に基づき、以下の構成となっている。

| | | | | | |
|-------------|----------|-------------|---|----------|----------|
| 第一部会 | （主査）委員 | 石田 東生 | 筑波大学教授 | | |
| | | 委員 小澤 一雅 | 東京大学教授 | | |
| | | 委員 寶 馨 | 京都大学教授 | | |
| | | 委員 中村 太士 | 北海道大学教授 | | |
| | | 委員 永治 泰司 | (社)建設コンサルタント協会 技術委員会委員長 (株)長大 執行役員技術統轄部長 | | |
| | | 委員 根本 敏則 | 一橋大学教授 | | |
| | | 委員 藤田 正治 | 京都大学助教授 | | |
| | | 委員 古米 弘明 | 東京大学教授 | | |
| | | 第二部会 | （主査）委員 | 村上 周三 | 慶應義塾大学教授 |
| | | | | 委員 浅見 泰司 | 東京大学教授 |
| 委員 熊谷 良雄 | 筑波大学教授 | | | | |
| 委員 高田 光雄 | 京都大学教授 | | | | |
| 委員 辻本 誠 | 東京理科大学教授 | | | | |
| 委員 野口 貴文 | 東京大学助教授 | | | | |
| 委員 野城 智也 | 東京大学教授 | | | | |
| 第三部会 | （主査）委員 | 芳村 学 | 首都大学東京教授 | | |
| | | 委員 三村 信男 | 茨城大学教授 | | |
| | | 委員 井口 典夫 | 青山学院大学教授 | | |
| | | 委員 日下部 治 | 東京工業大学教授 | | |
| | | 委員 窪田 陽一 | 埼玉大学教授 | | |
| | | 委員 小林 潔司 | 京都大学教授 | | |
| | | 委員 柴山 和也 | 横浜国立大学教授 | | |
| | | 委員 山内 弘隆 | 一橋大学教授 | | |

会議当日は、研究内容等について説明した後、主査及び各委員から意見をいただくとともに、他の部会の委員からの事前意見も紹介する。さらに、事後評価については評価シートを、事前評価についてはコメントシートを記入いただく。ただし、委員等が評価対象課題に共同研究などで関与している場合には、評価対象課題のうち、当該部分の評価は行わないこととする。また、主査が評価対象課題に関与している場合には、当該部分の評価を行う間、あらかじめ委員長が他の委員から指名する委員が、主査の職務を代理することとする。

評価結果は、他の部会の委員等から事前にいただいた意見を含め、事後評価については会議における意見と評価シートに基づき、また、事前評価については会議における意見とコメントシートに基づき、主査又は主査の職務を代理する委員の責任においてとりまとめることとする。さらに、研究評価委員会委員長の同意を経て、国土技術政策総合研究所研究評価委員会の評価結果とする。

4 評価結果の公表

評価結果は、議事録とともに公表する。